



にじのへやだより

病児保育室にじのへや
蕨市病児・病後児保育事業

2019年9月発行

(vol. 1)

こんにちは！病児保育室にじのへやです。

平成31年4月1日に、蕨市初の病児保育室として中央3丁目にオープンいたしました。

地域の皆様のご理解をいただきながら、おかげさまで利用のべ人数120名を超え（令和元年8月現在）順調に運営させていただいております。

このたび、病児保育室にじのへやについて皆様にもっとよく知っていただこうと、おたよりを発行することになりました。どうぞ宜しくお願いします。

①4～8月の利用状況 のべ137名、登録者数53名

〈利用の多い疾患〉

- 1、上気道炎 71名
- 2、気管支炎 16名
- 3、ヘルパンギーナ 10名
- 4、手足口病 7名

〈利用内訳（年齢別）〉 (名)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
26	73	22	13	0	2	0	1

その他（咽頭炎、感冒、RSウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、胃腸炎、喘息性気管支炎、インフルエンザ等）



0～1歳児のご利用がほとんどです。
安心して過ごせる雰囲気づくりを



②利用方法

- ・開室時間：8:00～18:00
- ・料金：2,100円/日

利用をご希望の場合は、ご利用希望日の前日か当日ににじのへやに電話し、空室状況の確認をしたうえで予約をお取りください。その後、医療機関を受診し、医師に「蕨市病児・病後児保育事業利用連絡書」を記載してもらい、お持ちください。その他にも記載していただく書類や持ちものがあります。詳しくはご利用前に保育室スタッフにお尋ねいただくか、ホームページやパンフレットをご参照ください。

設備の都合上、当保育室でお預かりできない病気があります。ご確認ください。

【当保育室でお預かりできない病気】

麻疹、風疹、水痘（水ぼうそう）、おたふくかぜ、結核、百日咳、プール熱・流行性角結膜炎などのすべてのアデノウイルス感染症



今年の夏も猛暑でしたが、これからの時期は朝晩肌寒く感じられる日も増え、体調を崩しやすくなるので気を付けましょう。また、例年インフルエンザの流行は11月頃から始まるので、10月に入ったらインフルエンザの予防接種を受けましょう！